



# モッピー

だよ

特定非営利活動法人  
ふれ愛びっく大阪クラブ  
責任者 竹中重夫  
柏原市大正1丁目3番25号  
<http://www.kawachi.zaq.ne.jp/fureai/>

# シリーズ

## グラウンドソフトボールをささえつづける人達(8)

「グラソフと私」 中村 尚



私とグラウンドソフトボールとの出会いは、昭和35年、静岡県庵原郡由比町立由比中学より、浜松盲学校に転任したときが最初でした。元々、音楽の教師だった私ですが、盲学校には職業音楽の免許を持った先輩の先生が二人も居られて、音楽の授業で私の入る余地が殆どなかったために、副専攻の体育を教えることになったのです。

当時は、「盲人野球」と呼ばれていましたし、ラッキーゾーンまでは35mでした。ボールはハンドボール3号球で名目上は今と同じ

ですが、実は革製で中にゴムのチューブがある、毎回空気を入れては、口ゴムを閉め革紐で入り口を閉めるのですが、手間は掛かるし、紐通してパンクはさせる、それは大変でした。そのうちに、バルブ付きのボールが出て来て少しは楽になりました。ラッキーゾーンまでの距離を40mに伸びました。それからしばらくして、盲社会人野球(日盲連)大会が始まると全国ルールが出来てラッキーゾーンまでも45mとなり現在に近づいて来ました。

私が指導を始めた当初は、盲学校の生徒の構成は全盲7割弱視3割で、しかも浜松盲学校では弱視と言っても、視力0.1以上ある生徒はほとんどいなく、0.02や0.01の者が弱視選手となっていました。その頃の子供は、今の子供達より野球が好きだったように思えます。もっとも野球しかなかったからかも知れません。学校前の水の干し上がった幅1m程のドブに入って誰の手も借りず、全盲同士でキャッチボールをやるのですから驚きです。とにかく、自分たちで遊び方を見つける。遊び場所を探し出す。遊び方を工夫する。すべて、今の子供達にやって貰いたい事ばかりです。さて、学生野球から始まった私の盲人野球生活も、日盲連社会人大会の地区予選の審判に駆り出されるようになり、東海地区では皆さん顔馴染みになりました。静岡県には社会人の盲人野球チームが東・中・西にそれぞれ1チームづつあり活動しています。私も普段は住居の関係で西部地区のチームに入れて貰って楽しんでいます。全国大会へは、静岡県チーム(東部チーム)のコーチとして、宮崎大会(優勝)、滋賀大会(準優勝)に参加させて頂きました。現在は、全日本グラウンドソフトボール連盟ルール検討委員会の末席を汚させて頂いております。

### \* スケジュール

2003年1月26日	ふれ愛びっく大阪クラブ	大阪リバーサイドホテル
	ルール研修会 14時00分~16時30分	(大阪市都島区中野町5-12)
	新年懇親会 17時00分~19時00分	環状線桜ノ宮駅下車徒歩3分
2003年3月	審判実技研修会	大阪市立盲学校(大阪市東淀川区)
2003年4月6日	MIE パールカップ	三重県立障害者総合福祉センターグラウンド

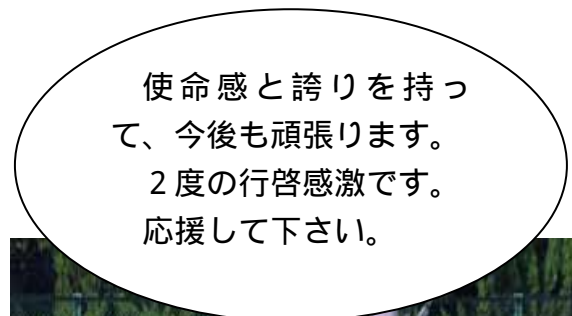
編集後記 世界に羽ばたくグラソフ目指し、「たゆまぬ努力と強い意志・高い理想」を持って、夢に近づくと2003年にしたいと考えます。皆様のご協力、宜しくお願い致します。

<http://www.kawachi.zaq.ne.jp/fureai/>

# 新春 初夢放談



出席者  
 徳島県チーム監督 山田信夫さん  
 " 主将 林正夫さん  
 愛知県チーム監督 溝上信利さん  
 三重県チーム " 片山日出夫さん  
 " 兵後正剛さん  
 大阪府チーム監督 山根康秀さん  
 大阪市チーム主将 守田清美さん  
 司会 廣谷美雪  
 (ふれ愛びっく大阪クラブ)



使命感と誇りを持って、今後も頑張ります。2度の行啓感激です。応援して下さい。



## 高知よさこいピックにて

### 皇太子ご夫妻のご観戦

### 再度の誉れ喜多審判員

11月開催された高知よさこいピックの行啓試合において、当クラブより堀川俊純・喜多範子の両審判員がそれぞれ球審・3塁審を務め無事その重責を果たした。

特に喜多審判員は、平成9年度に行われた「ふれ愛びっく大阪」に続き2度目の行啓試合となった。



\* 司会

新年明けましておめでとうございます。昨年に続きましての「新春放談」。今回は、各チームで活躍の選手・監督代表の皆様方のお話をお伺いしたいと思います。どうぞ、宜しくお願い致します。

\* 一同

宜しくお願いします。



\* 司会

さて、『昨年を振り返って』と言うことで、お話をお聞きしたいと思います。まずは、「全国大会障害者大会（前・国民体育大会）2連覇の徳島県チーム山田監督と林主将。昨年は、ほんとに良い一年だったのでは、、、

\* 山田さん

全国障害者大会2連覇というのはグラソフ史上4チーム目だそうで、大変光栄に思っています。頑張ってくれた選手には大変感謝しています。僕は、何にもしてないのですよ。選手には「ありがとう・ありがとう」です。

\* 林さん

2連覇出来た事はとても嬉しく思いますし、ラッキーだったですね。うちのチームは、練習といたしましてもピッチャーを中心として数名で行なっているだけで、特に寒い時なんか、殆ど集まりが悪くて、満足な練習が出来ないでいます。



\* 司会

でも、2連覇できるのだから凄い！

その高知大会の決勝戦で戦われました三重県チームの兵後さん、片山さんどうぞ。

\* 兵後さん

一昨年の宮城大会では、徳島県チームに悔しい負け方をしましたので、その悔しさをバネに一年間頑張ってきました。高知大会での決勝では、残念ながら、またも、負けてしまいましたが、その内容は違います。チームとしては、昨年度確実な前進するための一歩を確けたと思います。

\* 片山さん

チームとして少しづつではありますが、進歩してきていると思います。以前の三重県チームは、ほんとに弱かったですよ。最初の頃なんか、東海地区大会の第一試合でガチガチに緊張しちゃって自滅していましたね。ここ2～3年前頃から、やっとチームの持つ力を試合に出せるようになってきました。

\* 司会

今の、三重県チームからは想像もつきませんね。さて、その三重県チームとは、同じ東海ブロックの愛知県チームも昨年は、全日本選手権大会で二連覇を達成されましたが……

\* 溝上さん

ありがとうございます。

僕が監督をさせて頂いて、二年目になりますが、本音のところを言っちゃうと、選手兼任ということで、何か中途半端な感じになっちゃって何か上手く行かなくなって、最終的には、全日本選手権で二連覇させて頂いたのですが……まあ、チームの皆に助けて貰って感謝しているのですよ

1 1 . 司会

プレイングマネージャーというのは難しいですか？

1 2 . 溝上さん

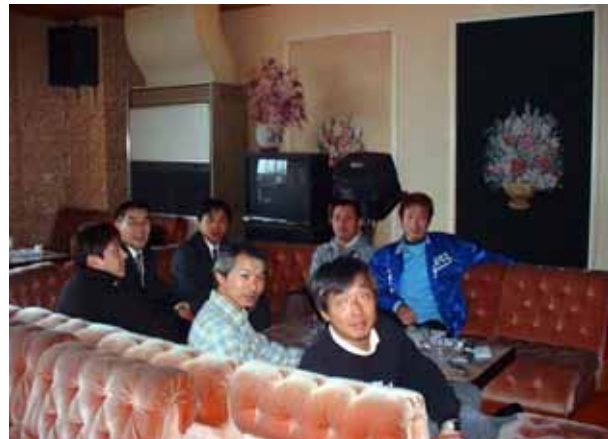
ええ、ほんとに難しいですね

1 3 . 司会

では、その道の大先輩として、山田監督何かアドバイスを

1 4 . 山田監督

イヤー僕は只、メンバーが足りないので仕方なく選手やっているだけだから、もっと若い人が入って来てくれるといいのですが……



\* 司会

山田監督がそうおっしゃると、何か余裕が感じられますね

\* 山田さん

イヤイヤ、そんな事はありません。僕のところも必死です。



\* 司会

追うも追われるも、大変というところでしょうか。では、二年連続で全国大会準決勝まで進みながらも、その壁を破れない大阪府チーム山根監督、来年こそは（笑）

\* 山根さん

（外野席より）エエ～ アヒヤヒヤヒヤ  
凄い前振りやなあ、  
何でそこで笑うねエ！  
笑なしゃーないなア

うち（大阪府）はね、準決勝ではブーっと苦労しているんですよ。近畿大会でも三年くらい準決勝で負けてしまって、やっと一昨年全国出場を果たしたのですよ。準決勝まで行くと、やはり強いチームが上がって来るでしょう。その壁は、厚いですよ、でもね、チーム全体としては確実に成長して来ているのですよ。僕自身もっと監督として勉強しなくてはと反省しています。後、3～4年苦労して、その後、上に上がれば良いなと思っています。

\* 司会

勝利のためには監督・主将の力量というのが大きく左右すると思いますが、昨年10月より大阪市チームの主将になられました、守田さん抱負をお聞かせ下さい。

\* 守田さん

うちのチームも、練習に参加してくれる人が少ないんですよ。只先ほど徳島県チームさんもおっしゃっていましたが、少ないなりに工夫した練習方法を考えなければと思っています。皆さんに負けられないように頑張りたいと思っています。

\* 兵後さん

うちのチームは、昨年度「今年は変わろう！」をスローガンにして、皆で頑張ってきました。強くなるためには、選手はもちろんコーチ・スコアラーも含めた一人一人が「自分が何をすべきか」をよく考え、その人なりの努力をして行くことが大切だと思うのです。グラソフが競技スポーツである以上、僕は勝ちたいと思いますし、努力もして行きます。

\* 片山さん

自分の器というのがある以上、其れだけの事しか出来ないのですが、、、でも、自分に出来る事は精一杯やって行きたいですね。全国大会に行く前には、地方大会がある訳ですから、取り敢えず、愛知に勝ってと思っています。先ずは一勝、そして次の一勝ですね。



\* 溝上さん

全日本選手権で二連覇もしましたが、今の愛知県チームには、覇者としての気持ちは少しもありません。チャレンジャーになってやって行きます。たとえば、「初球からでも狙って行け」とか守備にしても「思いきって突っ込め」とか。引いてしまうとダメですね。失敗したら、それはその時の事として、先ずは、前向きにやろう……その辺、チームの皆の気持ちは高まって来てると思うんです。とにかく前向きに頑張るって、愛知も強いなと言って貰える様になりたい。徳島に追いつけ追い越せでやって、いつか追い越し、そしてカップを手にしたいです。

\* 山田さん

地方大会のお話が出ましたが、四国地区も凄い激戦区なのです。全国大会で徳島が7回、愛媛が5回優勝しています。この四国大会に勝たなきゃね。あと、天敵の高知もいますし（一同笑）とにかく、四国大会に“勝つ”ですね。



\* 司会

全国トップを目指すも、先ずは地方大会からという、非常に謙虚と言うか、地道と言うか、其れでこそ、全国の頂点に立つべきチームとしての姿勢なのだと感じ入っていますが、、、、さて、その地方大会の厚い壁に立ち向かう大阪市チームさんどうぞ

\* 守田さん

イヤー 辛いなー！(笑)  
メチャ厚い壁やしねI ホンマ(笑)  
(外野席より) 可能性がない事はないよ(笑)  
昨年はねI、近畿大会で2チーム出場できるというので何とかなるなァーと思ってたんですけど……

\* 司会

私も、大阪市、大阪府とでアベックで出場するか！と期待していましたが。生意気なようですが、大阪市チームは良い時と悪い時のバラツキが非常に大きいように感じられますけど、

\* 守田さん

えゝ やはり練習不足でしょうね、まア 今年からは、皿袋新監督を盛り上げて、チームの皆と相談しながらコツコツやっていきますよ。

\* 司会

来年に向けての皆様方の熱い思いは十分に伝わって参りましたが、さて、グラウンドソフトボールの競技スポーツとしての将来を見据えて、ご意見をお聞きしたいと思いますけど、

\* 兵後さん

昨年はルール改正もあったし、用具なども新たに規制されたけどアイ・シェードの使い勝手はどう？(と片山さんへ)

\* 片山さん

アイ・シェードに変わった事は良いのですが、もう少し工夫してほしいですね

\* 山田さん

と、言うとは？



\* 片山さん

痒いのですよ、汗かくとね。とても暑いし

\* 山田さん

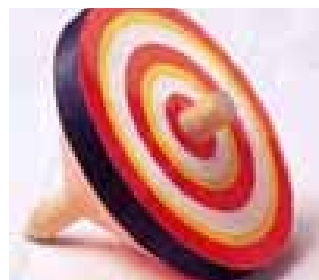
全く見えないでしょう？

\* 片山さん

ええ、全然  
でもね、それはそれで良いと思いますが、以前のアイマスクだったら「下から見えるだろう」なんてね、変に疑われる位ならアイ・シェードを付ける方が、いっそ、すっきりしますよ。少し位見えたからって、プレーが上手く行くものでもないですよ。

\* 兵後さん

全盲選手への指示について、どう思います。



\* 山田さん

あのルールは要らないと思うなあ！全盲選手の働き場所が無くなってしまった。

\* 林さん

何か、リモコン操作されているように見えてしまいませんか。

\* 山田さん

「音を頼りに、球を捕る」というのが、この競技の大きな特徴だと思うのですが、その感動が無くなってしまったようで、

\* 片山さん

審判はあのルールが出来て、やり易くなったと思いませんか。

\* 溝上さん

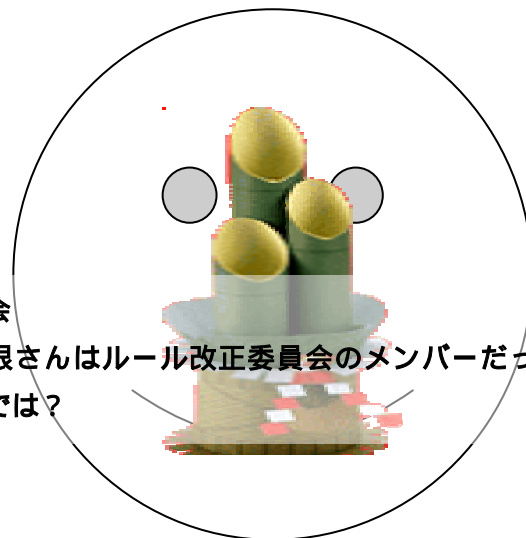
僕の身内の者が、初めてグラソフを見た時、全盲選手の捕球を見て本当にボールが取れるのかって？

\* 兵後さん

確かに、全盲選手の捕球は、グラソフ一番アピールするプレーでしょう。

\* 片山さん

全盲選手に携るルールはもう少しキチンと考えた方が良いと思うのです。選手と審判の両方の意見を聞いてより良い方向に行っていきたいです。



\* 司会

山根さんはルール改正委員会のメンバーだったのでは？

\* 山根さん

イヤ 僕は違います。只、役目上同席した事も在りますし、経緯は知っていますが……

\* 司会

十分に議論されたのでしょうか

\* 山根さん

ええ、そう思っていたのですが、  
でも今皆さんのお話を聞きまして、もう少し時間を掛けても良かったのではないかと思います。これからも、いろんな意見を聞かせて頂いて、其れを、役員会へ報告させて頂きグラソフがより良い方向に向かうよう、務めて行きます。

\* 司会

どうぞ宜しくお願い致します。  
それでは、最後に新たな年を迎え、全日本グラソフ連盟の大橋会長がいつもおっしゃっている「世界へ羽ばたくグラウンドソフトボール」になるために何か素敵なお話をお伺いしたいですね。昨年、一足先に世界を見て来られた兵後さん如何でしょうか。



\* 兵後さん

現在、大きな大会として全国障害者大会・全日本選手権、そして、春・秋の中日本大会等ありますが、それぞれ出場資格者等の枠組みを替えるとかして、その大会の特徴を出して行ければ良いと思います。健常者にも参加して貰える様な大会があれば、グラソフがもっと広く認知されると思うのですが。ふれ愛びっく大阪さんにも頑張ってもらってグラソフをもっとアピールして頂ければと思います。僕たちの一番の夢である世界大会の開催に向けて皆で頑張りましょう。

\* 司会

その日が一日も早く来る様に、ふれ愛びっく大阪クラブも精一杯サポートさせていただきます。

それでは、皆の心をひとつに、最後は一本締めで終わりたいと思います。山根監督お願い致します。

\* 山根さん

では、僭越ですが、ヨーオ！！

### 座談会を終えて

チームの立て直しを模索する人、全国制覇を狙う人、そして、世界へ夢を見る人、出席者の思いは様々ですが、グラソフを愛する気持ちは皆一緒。大阪府山根監督の掛け声に合わせて一本締めは見事に決まり新たな年への素晴らしいスタートとなりました。



第2回全国障害者スポーツ大会

徳島県 三重県を破り大会2連覇!!



2連覇達成の徳島県チーム



グラウンド整備担当 丸の内高校ソフトボール部の皆さん

最初で最後のよさこいピックの手伝いできて、とても良い経験になりました。グラウンドソフトボールを見て、今後、自分の人生に役立つと思いました。

伊達生紗 (丸の内高校ソフトボール部)

ボランティアで国体に協力できて、うれしかったです。初めてグラウンドソフトボールを見たときは、耳を頼りにして体で止めていて、感動を覚えました。また、機会があればいろいろなボランティアをやってみたいです。

伊藤陽子さん

(丸の内高校ソフトボール部)

11月8日～11日、高知市高須浄化センターで第2回全国障害者スポーツ大会が開催された。

徳島県が、対鹿児島県(1回戦)で、2点を先制するも4回に鹿児島に急迫され、2対2で抽選と苦しんだが、日頃の実力を遺憾なく発揮、京都・三重を破り、大会2連覇を達成した。

決勝戦は、大会初勝利を目指していた三重県が、練習試合を重ねた成果を発揮、昨年、徳島に最終回逆転負けの悔しさをバネとして、高知・大阪を撃破、その勢いで徳島戦に望んだが、残念ながら1対0で敗退涙をのんだ。

大阪府は、埼玉を完封、準決勝戦に望んだが、投手起用の迷い、タイムリーエラー等により5点を許し、最終回急追したが惜しくも敗退、2年連続3位となった。

この大会に、全日本グラウンドソフトボール連盟大橋会長・金子事務局長が来賓・FM放送解説員として参加した。また、連盟から審判員11名(ふれ愛びっく大阪クラブ 9名)が参加し、大会運営に協力した。

第1回戦	埼玉県	0 対 2	大阪府
	高知県	0 対 3	三重県
	岩手県	4 対 5	京都府
	鹿児島県	2 対 2	徳島県
準決勝戦	三重県	5 対 3	大阪府
	京都府	1 対 8	徳島県
決勝戦	三重県	0 対 1	徳島県
3位決定戦	京都府	0 対 8	大阪府

< 決勝戦講評 >

決勝戦にふさわしい、両チームとも全力を出しあっているの詰まる攻防となった。ともに前半のチャンスは相手の攻守に押さえられて、両チーム無得点で向かえた4回裏、徳島県は、元木のタイムリーで1点先制し、藤本投手の力投で完封勝の連続優勝となった。三重県は、片山投手、速急と大きく曲がるカーブもさえ、最少得点に押さえたが、1点が遠く惜しくも涙をのんだ。見応えのあるすばらしいゲームであった。(記録 宮本美喜さん)

第3回全日本グラウンドソフトボール選手権大会

愛知県二年連続全国制覇!!



平成14年10月12・13・14日、名古屋市第二富士ホテル・愛知県一宮市総合運動公園で第3回全日本グラウンドソフトボール選手権大会が開催された。

12日には、審判員打合会議・チーム代表者会議・開会式・懇親会が滞りなく行われ、13日は、一宮総合運動公園で3チームによる予選リーグ戦12試合、14日には、決勝トーナメント戦9試合を行い、愛知県が2年連続優勝をした。

なお、この大会には11月に高知市で開催される、第2回全国障害者スポーツ大会に出場する岩手・埼玉・三重・大阪・京都・高知県の6チームも参加、前哨戦として熱戦を展開した。

この大会には、全日本グラウンドソフトボール連盟公認審判員の資格を持つ審判員38名(埼玉県5名・群馬県4名・愛知県4名・福井県1名・石川県4名・岡山県2名大阪府18名)が全国から集まり、審判を行うとともに、審判員としての技術研鑽・情報交換・交流等を行った。

なお、この大会に当クラブから竹中理事長(大会副委員長)中尾総務副委員長飴谷総務委員等3名、審判員18名が参加し、大会運営の中心として活躍した。

予選リーグ戦 < 13日 >

A	三重・岐阜連合	1 対 3	岩手県
	熊本県	0 対 6	岩手県
	三重・岐阜連合	10 対 2	熊本県
B	大阪府	10 対 3	東京パ^-754
	長野県	0 対 3	東京パ^-754
	大阪府	16 対 4	長野県
C	愛知県	7 対 1	札幌MAX
	岡山県	8 対 6	札幌MAX
	愛知県	6 対 2	岡山県
D	京都府	2 対 8	埼玉県
	高知県	4 対 5	埼玉県
	京都府	1 対 2	高知県

決勝トーナメント戦 < 1~4位決定戦 14日 >

準決勝戦	大阪府	3 対 3	岩手県
	(パーセンテージ方式により岩手県)		
	愛知県	1 対 0	埼玉県
決勝戦	愛知県	4 対 2	三重県

順位	優勝	優秀選手
	愛知県	貝沼正人
		小室 誠
準優勝	岩手県	田中宏明
第3位	大阪府	長野清晴
	埼玉県	秋葉秀樹
第5位	東京パ^-754	小山田寛
第6位	高知県	大野俊一
第7位	三重岐阜連合	村中克年
第8位	岡山県	柴田富夫
第9位	熊本県	黒木明吉
第10位	京都府	林 秀一
第11位	札幌MAX	松本敏彦
第12位	長野県	片桐恒夫